

引用文献

- Anahita Rashidi, Shireen S. Rajaram(2001). Culture Care Conflicts among Asian-Islamic Immigrant Women in US Hospitals, *Holist Nurs Pract*, 16(1), 55-64
- 遠藤俊子, 渡辺尚子, 山本あい子, 他 (2005). 新版助産師業務便覧. 日本看護協会助産師職能委員会. 158
- 藤原ゆかり (2006). 異文化圏からの人々の出産に対する助産ケアの現状—文化を考慮したケアの現実に向けて—, *日本助産学会誌*, 20号1巻 48-59
- 藤原ゆかり, 堀内成子 (2007). 在日外国人女性の出産—孤独感や疎外感を抱く体験—. *ヒューマン・ケア研究*. 38-50
- グレッグ美鈴(2010a). IV主な質的研究と研究手法 1 質的記述的研究. グレッグ美鈴. よくわかる質的研究の進め方・まとめ方. 54-70. 医歯薬出版株式会社
- グレッグ美鈴 (2010b). IV主な質的研究と研究手法 1 質的記述的研究. グレッグ美鈴. よくわかる質的研究の進め方・まとめ方. 64-71. 医歯薬出版株式会社
- ハッサンハトフト (2011) ムスリムの考え方を知る、久米智恵、イスラミックセンター ジャパン, 2327-2331
- 長谷川文, 村上明美 (2005) 出産する女性が満足できるお産—助産院の出産体験ノートからの分析—, *母性衛生*, 第45巻4号 489-495
- 樋口直人(2007). 滞日ムスリム移民の軌跡をめぐる問い. 稲葉奈々子, 丹野清人, 福田智子他. 国境を越える滞日ムスリム移民の社会学. 青弓社. 11-19
- 法務省入国管理局. <http://www.immi-moj.go.jp/>. [2010-11-17]
- 池田光穂(2010). 看護人類学入門. 文化書房博文社. 53
- 加納直美(1998). 在日外国人への母子保健活動の実践にあたって. 李節子編. 在日外国人の母子保健 日本に生きる世界の母と子. 医学書院. 36
- 萱間真美(2009). 質的研究実践ノート研究のプロセスを進める clue とポイント. 医学書院. 75-79
- 河田尚子(2004a). 日本人女性信徒が語るイスラーム案内. つくばね叢書. 173-212
- 河田尚子(2004b). 日本人女性信徒が語るイスラーム案内. つくばね叢書. . 23
- Kemp C. (1996). Islamic Cultures: Helth-Care Beliefs and Practices, *American Journal of Health Behavior*, 10873244, 20(3)
- Khlood Salman, Rick Zoucha (2010). Considering Faith Within Culture When Caring for the Terminally Ill Muslim Patient and Family, *Journal of Hospice and Palliative Nursing*, 12(3), 156-163
- 小杉泰 (2008) イスラームとは何か, 講談社現代新書, 8-11
- 小杉泰 (2010) 日本に生きるイスラーム—過去・現在・未来—, サウジアラビア大使館文化部, 41
- 工藤正子 (2008) . 越境の人類学在日パキスタンムスリム移民の妻たち. 東京大学

出版会. 22-25

Leininger, M. M. (1992) レイニンガー看護論文化ケアの多様性と普遍性. 稲岡文昭. 宮島清孝. 滝沢美津子他 (1995) . 186

レジャーガレット (2006) イスラム圏の患者を診る、治療、88 巻 9 号

前田高行. <http://members3.jcom.com/home/ne.jp/3632asdm/> [2011-12-15]

前野直樹 (2008a) クルアーンに中のムスリマ、河田尚子、イスラームと女性、170

前野直樹 (2008b) クルアーンに中のムスリマ、河田尚子、イスラームと女性 174

Margaret A. Miklancie(2007). Islam, a Way of life for Muslims, Home Healthcare Nurse, 25(6), June, 413-417

Masahiro TODA, Kanehisa MORIMOTO (2001). Health Practice in Islam-The Cultural Dependence of the Lifestyle Formation-, Environmental Health and Preventive Medicine 5, January , 131-133

中野美香、森恵美、前原澄子(2003)、出産体験の満足に関連する要因について、母性衛生、第44巻2号、307-314

中山まき子 (2005)、妊娠経験者の子どもを持つことにおける意識—子どもをく授かる>・くつくる>意識を中心に—原ゼミの会編集委員会、ジェンダー研究が拓く地平、文化書房博文社, 55-79

野中千春、樋口まち子 (2010)、在日外国人患者と看護師との関係構築プロセスに関する研究、国際保健医療、第25巻、第1号

桜井啓子 (2003) . 日本のムスリム社会. ちくま新書. 26-38

眞田芳憲 (2006) .イスラームと婚姻. 庭野平和財団, 平和と宗教 44-58

眞田芳憲 (2007) .イスラームの家族観. 庭野平和財団, 平和と宗教 113-128

佐藤千恵、佐藤陽子、金田江里子他 (2000) 分娩期、育児期の母親の不安感、日本女性心身医学会雑誌、5巻2号、174-179

総務省 <http://www.soumu.go.jp/> [2011-5-08]

Sylvia Reitmanova, Diana L. Gustafson (2008). "They can't Understand It": Maternity Health and Care Needs of immigrant Muslim women in St. John's, Newfoundland, MaternChild Health, June, 102-111

多久島寛孝(2005). 保健科学研究誌, 2巻, 17-23

店田廣文, 岡井宏文 (2011) . 外国人に関する意識調査岐阜市報告書. <http://imemgs.com/>. [2011-04-30]

Tsianakas,V.P., Liamputtong,C.(2002). Prenatal testing: the perceptions and experiences of Muslim women in Australia, Journal of Reproductive and Infant Psychology, 20(1), 8-24

横山美江編. よくわかる質的研究の進め方・まとめ方看護研究のエキスパートをめざして. 医歯薬出版株式会社. 56-61